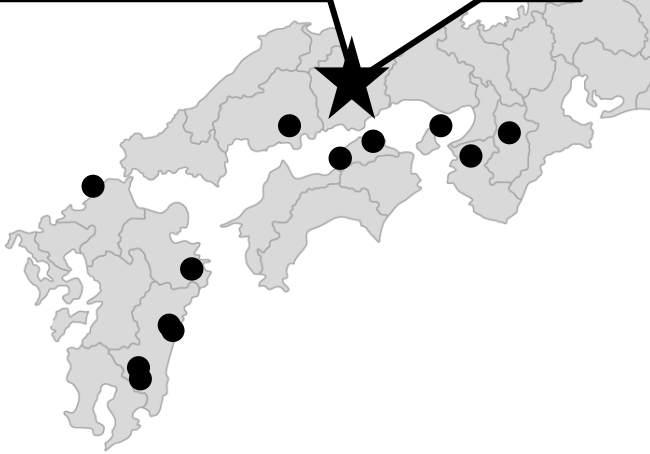


岡山県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜 確認！（国内22例目）

12月11日、岡山県美作市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内22例目の発生となります。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

岡山県美作市(22例目)



★22例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 岡山県美作市
- ・飼養状況 育雛鶏 約52.9万羽
(疫学関連農場 育雛鶏約11.3万羽)

【経緯】

- ・12月10日、死亡羽数増加の通報を受け岡山県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月11日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。防疫指針に基づき疫学関連農場も疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- 家きん舎に出入りする時の手指消毒
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！